



ブラックパネル温度83°C対応 サンシャインウェザーメーター試験

太陽光(紫外線)による品質劣化を、高温条件下で評価することができます。

仕様

- ウェザーメーター試験機は、ブラックパネル(BP)により温度制御を行います。従来のBP温度63°Cに比較して、本試験は温度が20°C高い83°Cで実施するため劣化速度は約4倍になると推定されております。
- 高温下での耐候性試験が可能になったことにより、実使用環境の高温条件を再現した試験を実施することができます。

装置	サンシャインウェザーメーター (スガ試験機製)
型式	S80-H・B・BR
光源	サンシャインカーボンアーク ランプ
湿度	30~70±5%RH (条件によって異なります)
BP温度	63~95°C
放射照度	78.5W/m ² (300~400nm) 255W/m ² (300~700nm)
処理能力	150×70×1mm 最大70枚

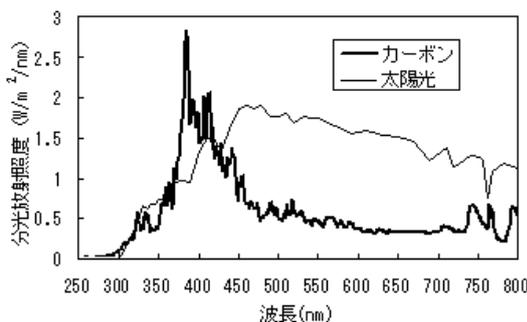


図1 太陽光とサンシャインカーボンアークの分光分布比較

〔出典：岩崎電気(株)殿 技術資料
「促進耐候性試験機の現状」〕



ブラックパネル温度83°C対応
サンシャインウェザーメーター

対応規格および適用例

主な規格	
JIS	C 8398、D 0205、K 5600
ISO	4892-4、2135、17398
ASTM	D750、D822、D3361、G152



太陽電池パネル

- サンシャインカーボンアーク式ウェザーメーター試験は国内では標準的な促進耐候性試験であり、JIS、ISOをはじめ多くの規格に規定されています。
- 太陽電池パネルや車内ダッシュボードなどは、夏場は80°C以上の温度になると言われています。従来の試験機(ブラックパネル温度: 63°C)では不可能であった高温下での耐候性評価が可能です。
- 耐候性試験が必要とされる製品
自動車やバイクの内装・外装品、フィルム、太陽電池パネル、建築物の塗装品、精密機器 等

ダッシュボード
夏場: 80°C以上

